

## 入間市男女共同参画都市宣言

# 記念作品集



埼玉県入間市

## 入間市男女共同参画都市宣言

わたしたちは、あらゆる分野において女性も男性も一人ひとりが特性と能力を十分発揮し、対等の立場で参画するとともに責任を分かち合う男女共生社会の実現に向けて、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

- 一、わたしたちは、男女が性別にとらわれず個人として尊重し合うことを大切にし、共にかがやき、いきいきと暮らす「入間」をめざします。
- 一、わたしたちは、男女がお互いに対等な立場で、政治・経済・社会・文化などのあらゆる活動に等しく参画する元気な「入間」をめざします。
- 一、わたしたちは、男女が家事・育児・介護などを分かち合い、互いに支え合う、思いやりあふれた「入間」をめざします。
- 一、わたしたちは、男女が国際社会の一員として共に協力し、平和を愛する香り豊かな緑の文化都市「入間」をめざします。

平成 15 年 11 月 16 日 埼玉県入間市

本日、入間市は「男女共同参画都市」を宣言し、市民一人ひとりが共にかがやき、いきいきと暮らせる入間市づくりを目指し、新しい一歩を踏み出しました。

この都市宣言の記念事業として「男女共同参画」をテーマとした作品を募集いたしました。応募いただいた作品中、エッセーには日常感じていたことや、自分らしくありたいと願う思いが寄せられ、標語には小学生から大人まで幅広い皆様から笑いを誘うもの、嬉しくなるものなどが寄せられました。また、写真には何気ないふれあいのほのぼのとしたものと、どれも素晴らしいもので本当にありがとうございました。

作品から「男女共同参画」って、ちょっとしたことを変えると始まることをご理解いただき、周りの皆様に「男女共同参画」を広めていただくよう、実行委員一同、心から願っております。

平成15年11月16日

「男女共同参画都市宣言」実行委員会

会長 市 万里子

## 目 次

### エッセー部門

相原 受光子	1
あずま さとる	3
赫 灼江	5
久保田 文江	7
高橋 節子	9
高橋 直樹	11
築地 芳枝	13

### 標語部門 子どもの部

優秀作品	15
佳作	16
応募作品	18

### 標語部門 一般の部

優秀作品	31
佳作	32
応募作品	33

### 写真部門

優秀作品出品者・応募作品出品者	35
-----------------	----

エッセー部門

## 「働く女性」

相原 妥光子

近代働く女性は社会からも広く求められるようになって来ました。多様化が進む時代に活躍をする女性たちは輝き自立し、個人の能力を発揮し社会に大きく貢献していると思います。戦後まもなく生まれた私にとって働く女性は母の姿を思い出します。その時代は家族が生きていく為に、男性、女性に関係なく一生懸命今日の為に働いていたと思います。この時代、人々は日本の国が子供達の将来や苦しみの中から希望と夢を探し求めていたと思います。私の家族は、父が病弱の為、母が働くことで生計が成り立っていました。小柄だった母は、男性に囲まれて力仕事をしていました。その様子は、四才頃だった私の脳裏に今だ忘れることのない大きなできごとでした。優しくて愚痴も言わず前向きに生きた母の一生を自分自身の教訓としています。その時代には保育室もなく、幼い私は母に手をひかれ仕事先につれていかれました。夕暮まで母

の姿を追い、一人遊をし、いつの間にか寝てしまったりし、「もうすぐ、母ちゃんが迎えに来てくれる、早くきて」。そして一日が終わり母と手をつなぎ家路に向う、ちょっと固い手だったけど、優しい温りが幼い私の胸いっぱい伝わり幸せだったひととき。「母ちゃんと一緒に母ちゃんと家に帰れる」……それから三十五年が過ぎ、今度は私が病と闘っている母の手をひいて散歩。その手は、昔のままだった。ちょっと固くて優しい温りが伝わってきて、胸が熱くなってきて、今も母ちゃんがいる、そう思いました。その母も二年後に他界しました。女性が働くこと、それは日々、仕事の責任、家事、子育て、それはまさに戦争です。でも一人の人間として夢や希望を持って今は生活できる時代でもあります。将来いつしか心の声で我子らにエールを贈ってあげたい、親の姿を見せてあげられるならば、頑張っている母の姿勢だと思います。そして一日、一分でもいいと思います。子供達とスキンシップして下さい、きっと母ちゃんの優しい温りが伝わっていつも一緒、「いつも一緒」でいられると私は思います。

## 「拝啓 オヤジ殿」

あずま さとる

あなたが逝かれた年齢をすぎ十年近く立ちました。若い頃はあなたのことを思い出すこともしませんでした。近ごろはどうかすると思うことがあります。

私とあなたの間の溝は最後まで埋まることはありませんでした。いつからこうなったのでしょうか。

私がまだ小学生のころ(その当時は国民学校といっていました。私の暗い記憶の時代です)あなたの前でのびのびとふるまうことはなかったように思います。なぜ?と問われても今となってはおぼろげな記憶になりましたが、その時分の私はおどおどと、大人の顔をうかがっているような子供でした。それは、そのころの時代風潮であった軍国主義にはそぐわないことで、学校の先生も含め大部分の大人たちに男らしくしろ……、そんなことではお国の役に立たないぞ、といったも叱られていました。学校でも、家でも。その暗い記憶が戦後20何年か過ぎても溝として残った。あな

たもその溝があるのを感じ、あなたなりに埋めようとされ、話しかけてくることがありましたが、あなたと違う意見を言うと必ず、あなたはお説教か命令調になっていました。溝は埋まらなかった。

そこで思うのですが、子供に対してはまず子供の立場に立ってみる、子供のところまで下りていく、これがあなたにはできなかった。これは自戒の思いもこめていうのですが、そのことがあなたと私の間に残った溝だと思います。それは明治生まれとして教育を受け、それから脱却できなかったあなたの悲劇でしょう。

とはいえあの無謀としか言えない日米戦争の末期の食糧難の時家族、特に私たち4人兄弟の子供達のために食料を調達し、育ててくれた、それには感謝します。安らかにお眠り下さい。

敬具

## 「愛働き」

かく しゃくえ  
赫 灼江

「専業主婦って、英語で何て言のかしら。」アメリカ人の女性に聞いた。「ハウスマネージャーにっこり笑って、マイハウス・ボスと答えるのよ、女性は食事作り、子育ていっぱいあるでしょ。」なるほど。

独身OL時代。かつて私も結婚と同時に15年程ハウスマネージャーをしていた。日中一人で家事をして過ごす、まもなくおむつ縫いの仕事加わり、子育て中も充実して楽しかった。その頃は友人の輪を広げて静動の趣味を生かしていると、ちょっとした縫い仕事があったり、親の介護もさせていただき、マネージャー業にどんどん巾が広がった。40代から外に出て働き出したが、充実していた15年が仕事の随所に生かされている。そして現在までの積み重ねは、すばらしい多くの友人を得、ボランティアも実践して、色々教えていただいた。それは次への気づきに繋がりにリタイア後の夢にまでなっている。

「おはようございます」朝6時過ぎ、熱いおしぼりが配られる。寝惚けまなこの私に比べたら、もうきびきびと働いている病院のヘルパーさん。食事、入浴の介護からシーツの交換と21時まで続き、夜中におむつ交換で起きると言う。

「畑で取れたジャガイモを茹でたから」と、いい塩梅のプレゼントはお掃除のおばさん。60歳はとうに超えたと思える女性達。今一休みで新しい体験をしているが、彼女達の働きぶりを新鮮な目で見詰めるととても心がこもっている。

働くって特別なことではない、必ず経済と結び付ける必要もないのだから。健康でさえあれば誰でも様々な働き方をしている、その姿は瞳が汗が愛が美しく輝いて見えるものだ。何の仕事でも働くと言うことは、世の為人の為に役立っているんだと、常に自分に自信を持って働きたいと思っている。

## 「『働く女性』から『働く人』へ」

久保田 文江

今だからこそ珍しくなくなった「働く女性」という言葉。しかし「働く男性」という言葉は聞かない。これは、どこかに男性は働くことが当然、女性は男性と同等に働くことが難しいという現実が存在するからではないだろうか。結婚の平均年齢が上昇し、少子化もここ数年予想以上に進んでいる。仕事を持つ女性が多くなり、それゆえに自己負担を少なくする手段の一つとしてこのようなことがあげられているのではないか。

私が生後六ヶ月の娘と一緒に現在の職場に面接に行ったのはもう十五年以上も前になる。運良く採用されたが、周囲に「エ!?」という顔をされ、見知らぬ人にまで「そこまでして働く理由があるの？」などと意見されたこともある。そんな中で続けてこられたのは家族の協力や娘の笑顔があったからに他ならないが、私自身、働くことは生きていく上で食事をとるのと同

じ位当然のことであり、たまたま結婚していたり、たまたま子供を持っているだけだと思っている。

しかし、それには多くの不便が生じた。保育園との時間の兼ね合いや行事の参加など、夫の協力以前の問題も多かった。また、会社の体制は子供を持ち働く女性にとって味方とは言えない。現実、私の勤務する会社ではある程度責任ある立場におかれている人さえ、子供を持っていると時間的負担を主な理由に仕事を断念せざるを得ない。救いは働くことにより、社会と関わりを持ち生活にめりはりがついたこと、仕事と家庭のけじめなど娘に後ろ姿を見せることができたことである。

「家庭を支えるのは女性」という考え方が男性に、会社に、そして女性の中に存在する事実。それが変わらない限り、現状が続くだろう。それぞれの向き、不向きをうまく生かし支え合いながら生きていくのが理想ではないか。「働く女性」という言葉がいつの日か死語になることを願う。

## 「ちょっと、ひと言」

高橋 節子

おはようございます。こんにちは。こんばんは。ありがとうございます。さようなら。おやすみなさい等々……。朝のあいさつから始まる日本の言葉。なんと素敵な響きのある言葉でしょう。

私は、時間があるとき、ウォーキングをしています。地域の人や見ず知らずの人にも、声をかけていますが、返事のない時の何と憂うつなことでしょう。顔を伺うようになってしまいます。子供達にとっては、なおさら、難しいことと思います。自分から素直にあいさつする子供には、返事をしてあげてください。勇気を出して言っているのです。

人として生きている以上、ひと言を添えるだけで、どんなに日常が和むことか……。我家では、何かしてもらったら、『ありがとう』が自然に出るように、心掛けています。反対に疲れていて、会話もない時、ちょっとしたひと言がきっかけになり、話題ができ和ん

でいくのです。家庭でも、ひと言添えることが大切です。夫婦、親子、兄弟姉妹だからこそ、なおさら、そのひと言が輝くのです。

働く女性は、今の社会状況では、ますます多くなります。働く女性に限らず、ひと言添える思いやりが、今の社会に欠けていると思います。基本的なあいさつも、出来ていない事があります。

忙しく時間におわれる日々にちょっと立ち止まり、ゆとりを持つことが、彼女らには大切です。そして思いやりのひと言が、宝石の様に、大切に貴重な輝きとなります。核家族、夫婦だけの家族、親子何代も続く家族、全ての家族に輝く宝石が、増えることを、願っています。

## 「仮親・子育て回想記」

高橋 直樹

「苦ちいよう!!苦ちいよう!!お父さん助けて...」うとうとした瞬間私の耳元に途切れ途切れの悲鳴にも似た繊細い声が聞こえて来た。ふと見ると先刻まで私の膝枕で抱かれて寝ていた「T」が息を詰まらせ喉をヒイヒイ言わせながら畳の上を「のた打ち廻ってゐるではないか、私は思わず「T、しっかりしろ。今楽にしてやるからな」と慌てて傍らの「手動式気管拡張用吸入器」を取り吸入を始めた。「T」は生まれながら虚弱で小児喘息を患い両親の結婚生活の不調により数奇な運命に翻弄され幼い妹と別れ別れになり故有って私共の家に身を寄せ家族の一員として育って来たのである。TVの報道では昨日来よりの台風六号の本土接近を間断なく報じ、外は風雨が一段と強まって来ている。気圧の変化と環境状況に最も敏感に反応する小児喘息患者にとり一年の中で秋の台風シーズンは最悪の時期なのだ。新しい、木の香の芬々とする「絞

り丸太」の床柱に背を凭せ、寄りかゝりながら家内と交代で朝迄看病するのが此処数年来の我が家の子育て受難の「スタイル」なのである。睡眠不足の眼をこすりながら朝食もそこそこに攝り、会社に出勤、一日の疲れた身体に鞭打ち都心に近い中野坂上の国際仁友病院に立ち寄り「気道拡張薬」一週間分を貰い家路に着くのが仮親としての私の仕事であり、月に一度の定期検診、治療に「T」を連れ上京するのが家内の役割で、勤めてゐる身にとっては、之亦仲々大変な事ではある。幼くして両親に別れ血の繋がりのある伯母夫婦の家に世話になり、子供心にも得心の行かない自分の境遇に戸惑い、段々と身心の発達するにつれ分別がついて来たのだろう。幼稚園、小学校と進むにつれすっかり我が家の一員に溶けこみ、私の一人息子とは兄弟同様となり、仮親を第二の実の両親のように思うようになった。長年の悪夢の如き喘息から開放され、身心共に健全な少年に成長し、今では二児の親として幸福な家庭を築く迄になっている。顧りみて、あの頃が私共夫婦にとっても一つの逆境期であったのかと、今更ながら回想される今日、此頃である。

## 「パパ」

築地 芳枝

次男がパパに成った。以来、親として驚かされることに会す。それは、退院して帰った赤ちゃんを上手にベビーバスで入浴させている。「いつ、どこでお風呂の入れ方を習ったの」と見守る私達は目を丸くし、手順と手捌きの良さに驚き胸がつまった。こんな隠れた特技があったとは、「何もしない、不器用な子」と決めてかかっていた息子の顔を見上げた。

「親に成ると出来るもんだよ」

と、心から嬉しそうにすやすやと眠る我が子を見守っている。何か手伝おうと出かけたものの何もする事が見つからなかった。折々、成長を見せに来てくれ、我が家でお風呂に入って帰る。子供を泣かせることなく、歌を唱ってやりながらシャンプーをしている。浴槽に子供が立てる様に成った頃、夫が風呂場へズボンをたくし上げて孫を見に行った。

「見学ですか。おやし、今度入れてみてよ、可愛いから」

と言われ慌てて出て来た。「あいつ、どこで覚えたのかな、俺には怖くて出来ない、見学だけだ」と夫は言う。

結婚が決った時、ゼミ仲間という間柄を微笑ましく祝い、子供が出来たと報らされた時は「お嫁さんに苦労させる」と内心、心配だった。子供が二人になるんだもの、手伝える事はやらせて貰うと、覚悟はしていた。それは「夫と次男が同じ人間」と考えていたからであって、全てが取り越し苦労に終わった。やがて二才になる娘を囲み、賢い夫婦であり、親の様に見受ける。「俺は、たまにだけど『カミさん』は毎日だからね、それに子育てしながら『スキルアップ』もしているし、頭が下がるよ」と優しい。帰る車の息子に「パパ気をつけてね」と、いつしか息子をパパと呼んでいる自分に気付く。「着きました」のコールが鳴ると、静かな夜が、また一瞬にぎやかになった。

**標語部門** 子どもの部

## 標語部門 子どもの部

### 優秀作品

かっこいい 仕事も似合うね お母さん

宮 寺 村野 文香

仕事行く 母さんの笑顔 ぼくは好き

仏 子 恵沢 敏成

お母さん がんばる姿が 目にしみる

宮 寺 加藤 由唯

働いて かく汗かがやく お母さん

宮 寺 金澤 崇

すてきだな え顔ではたらく お姉さん

扇町屋 大窟 瑛梨

おばあちゃん 仕事行く時 若がえる

下藤沢 松本 大樹

## 標語部門 子どもの部

### 佳作

かっこいい トラックのってる おかあさん

新 久 黒米 光貴

やさしいね えがおでお仕ごと お母さん

小谷田 後藤 亜美

かあさんは りっぱにはたらく 家族のあこがれ

新 久 高山 舞

お仕事も 家事もみんな 平等に！！

小谷田 豊泉 麻衣

いきるため しごとをきめる お母さん

新 久 古舘 優太

かっこいい おとこのしごと うばっちゃんえ！

小谷田 粕谷 知広

お姉さん 働く手と足 神のうで

新 久 宮島 誠也

## 標語部門 子どもの部

### 佳作

キラキラと はたらくすがた ひかっている

小谷田 石垣 早紀

子どもでも みんなで家事を がんばろう

新 久 上原 正尚

日曜日 お父さん作る 朝ごはん

宮 寺 富田 あかね

母さんの 働く姿 見てみたい

宮 寺 荻野 太久実

おかあさん しごとのあせは カッコいい

宮 寺 中根 晴香

つかれても いつも笑顔の お母さん

宮 寺 大野 史央里

残業か 応援してるよ がんばって

豊 岡 露木 萌

## 標語部門 子どもの部

### 応募作品

すごいよね エンジンつくってる お母さん

新 久 山脇 柁

スーパーで はたらいているおかあさん じまんだよ

新 久 貫井 美里

あたまがいい おかあさんにも かなわないね

新 久 長谷川 優

お母さん 草とりをして あせをかく

新 久 間野 明奈

かじをやる 毎日たいへん おかあさん

新 久 吉野 航平

おかあさん おいしいごはん ありがとう

新 久 岡野 雅史

おかあさん ピアノやうたを がんばってね

新 久 村山 友理

おかあさん おいしいごはん ありがとう

小谷田 かす谷 わたる

おかあさんも 今日にも元気に いってらっしゃい

根 岸 水村 友梨香

しゅうまつに レジをやってる おねいさん

新 久 古川 りな

がんばって おしごとしてる おかあさん

新 久 山本 あおば

ふけいさん いつもニコニコ 気をつけて

新 久 益田 美侑

標語部門 子どもの部

応募作品

いるま市は おとなと子ども みな元気  
新 久 小林 大輝

おかあさん いつもおしごと がんばって！  
小谷田 村田 絢香

おかあさん いつもげんきに がんばって  
新 久 三原 エリカ

男女共同さべつなし  
小谷田 粕谷 俊介

たくさんある 女性もできる 仕事はね  
小谷田 豊泉 敬博

おかあさん むりをしないで 休んでね  
新 久 竹中 翠

男子女子 みんなでなかよく いいくらし  
小谷田 豊泉 怜

女性でも みんないっしょに 生きている  
新 久 福田 勝也

お母さん たまにはたくさん 休みなよ  
小谷田 中井 美帆

休みの日 母にうれしい お出かけた  
小谷田 粕谷 優子

お母さん いそがしいけど がんばるよ  
狭山ケ原 鈴木 智巳

おばあちゃん いつまでやるの お仕事を  
新 久 佐島 真実

標語部門 子どもの部

応募作品

男女はね みんな平等 社会人  
小谷田 後藤 初美

休日を おかあさんにも あげようね  
新 久 若林 貴之

かっこいい 仕事している おかあさん  
新 久 岩瀬 裕太

ありがとう おいしいごはん ありがとう  
新 久 村上 文香

お母さん できることは 子供にね  
小谷田 粕谷 舞

おかあさん むりをしないで やすんでね  
新 久 斉藤 健一郎

えがおがかがやく 女せいのしゃしょう  
小谷田 鈴木 秀明

お母さん いつも家の仕事 ありがとう  
新 久 黒米 彩香

仕事でも バリバリ働く お父さん  
根 岸 高山 美咲

家庭でも 男女平等 いいくらし  
新 久 山脇 栄里香

かっこいい 仕事している おばあさん  
新 久 中村 圭利

かっこいい 仕事している おかあさん  
小谷田 高野 大貴

標語部門 子どもの部

応募作品

おかあさん 仕事するなら かじやるよ  
新 久 滝 純一

おかあさん 家事をする手は まほうの手  
新 久 斉戸 寛了

今はもう 女性もりっぱに はたらける  
新 久 下田 勇人

お母さん ねっしんにしごとで おうえんだ  
新 久 貫井 拓弥

女性でも 目立って働き かがやこう  
新 久 貫井 裕希

その姿 もっとつづけて お姉さん  
新 久 森田 里砂

おんなでも やれることは できるんだ  
新 久 間野 徹

お母さん 家事も仕事も じょうずです  
小谷田 丸山 智也

お母さん いつもお弁当 ありがとう  
新 久 高橋 直子

お母さん はたらいてくれて ありがとう  
小谷田 粕谷 大樹

お母さん せっせと働き ありがとう  
新 久 水村 奏絵

おんなでも やすまらずはたらく がんばりや  
新 久 吉川 いづみ

標語部門 子どもの部

応募作品

不公平 男と女の 仕事の量  
根 岸 城間 永一

バスの運転 おんなの人でも やってるよ  
小谷田 坂ノ下 友美

土日には お母さんの てつただいよ  
小谷田 近藤 翔太

びょういんで いつもお母さんの 姿をみていた  
小谷田 小林 勇太

アルバイト おねえさんにも だいこうひょう  
新 久 寺澤 真実

休日は 休みがとりたい おねいさん  
小谷田 吉野 隼人

つかれても 毎日笑顔 ひかっている  
新 久 堀田 望

女性でも みんな平等 生きている  
新 久 小林 広明

休日も 休まず働く お母さん  
小谷田 中井 美帆

おかあさん いつもおしごと おつかれさん  
根 岸 豊泉 佑耶

お母さん いつも仕事 がんばって！  
新 久 佐藤 愛美

休みの日 女の人にも あげましよう  
小谷田 山崎 香奈

標語部門 子どもの部

応募作品

しごとする ママのすがた 光ってる  
高 倉 高橋 幸平

お母さん たいへんだけど がんばって  
野 田 山一 蒼仁

22ねん おしごとつづけた おばあちゃん  
宮 寺 林 みほ

先生は 子どもと生と 大へんだ  
宮 寺 林 優希

やっぱりやさしい かんごふさん  
宮 寺 山崎 剛

がんばってと 応援してるよ お母さん  
宮 寺 長谷川 徹

お母さん つかれてるから お手伝い  
宮 寺 石丸 博子

すてきだよ がんばっている おかあさん  
宮 寺 荻野 京介

おつかれ様 働く母の かたをもむ  
宮 寺 坂元 なぎは

おかあさん 仕事が大変 つらそうだ  
宮 寺 山崎 貴嗣

お母さん 仕事がんばれ お母さん  
宮 寺 川上 祐太郎

がんばって 今日元気にお仕事ね  
宮 寺 山崎 慶

標語部門 子どもの部

応募作品

おかあさん いつも仕事 がんばって  
宮 寺 森本 華奈

たいへんな 仕事してる おかあさん  
宮 寺 金谷 隼人

楽しそう 仕事をやってる お姉さん  
宮 寺 原嶋 加苗

休みの日 ゆっくりねてね お母さん  
宮 寺 山崎 慶

お母さん つかれているよ お仕事で  
宮 寺 田中 隼人

お母さん 仕事をいつも がんばっている  
宮 寺 長沢 康平

お母さん いつでもおせわ ありがとう  
宮 寺 藤原 飛鳥

お姉さん つらい仕事も やりとげて  
宮 寺 馬場 大道

お母さん どんな仕事も がんばって！  
宮 寺 山崎 美穂

いつまでも 私たちのことを見守ってくれる おかあさん  
宮 寺 長谷川 彩織

お母さん 朝から晩まで ごくろうさま  
宮 寺 長谷川 蘭世

お母さん いつもはたらき かつこいい  
宮 寺 高原 大地

## 標語部門 子どもの部

### 応募作品

お母さん 仕事はいいけど ムリはダメ  
宮 寺 長谷川 賢人

お母さん 仕事がんばって つらいけど  
宮 寺 原 薫 崇

お母さん 働く元気 いつまでも  
宮 寺 吉川 ゆかり

おばあちゃん 毎日そうじ かかさない  
宮 寺 吉川 礼美

休めない でもたまには休んで お母さん  
宮 寺 安藤 美咲

はたらいて つかれて帰る お母さん  
宮 寺 馬場 由布子

つかれても 働く母は すばらしい  
宮 寺 文字山 啓太

お母さん 毎日仕事 がんばって  
宮 寺 山口 純也

大変だ 大きい荷物を 運んでる  
宮 寺 柳川 愛美

つかれたと 思ってみたけど また仕事  
宮 寺 山崎 慶

スマイルが とってもすてきな お姉さん  
宮 寺 長谷川 愛

お母さん つかれて帰って 夕ご飯  
宮 寺 中村 瑞貴

## 標語部門 子どもの部

### 応募作品

おばあちゃん 仕事つらくても がんばって！！  
宮 寺 関谷 佳代

ありがとう いつもがんばる お母さんへ  
宮 寺 石田 佳子

お母さん 今日がんばれ かわいい  
宮 寺 田中 惇也

日曜日 休めてあげたい お母さん  
宮 寺 富田 勇樹

女性は 仕事姿が たくましい  
宮 寺 小嶋 舞子

お母さん いつも仕事で いそがしい  
宮 寺 古沢 なるみ

ありがとう いつもがんばる お母さん  
宮 寺 山崎 隼人

おかあさん 朝早くから 大変だ  
宮 寺 小島 一記

がんばって 仕事している お母さん  
宮 寺 坂根 正明

ぼくの母さん 父さんの仕事 手伝って  
宮 寺 山岸 祥之

働くと 意外にすごい 女性たち  
宮 寺 新井 正治

一日中 動きっぱなし お母さん  
宮 寺 山崎 慶

## 標語部門 子どもの部

### 応募作品

おかあさん まいにちどうも ありがとう  
小谷田 石原 綾乃

おねえさん えがおがいいね がんばって  
扇 台 にし村 知なみ

はたらくの たいへんだよね おかあさん  
扇 台 齊藤 倭

お母さん 食きあらいき 買ってやる  
久保稲荷 山本 瑛斗

ありがとう いつもがんばる お母さん  
久保稲荷 児玉 祥

家計簿 つけるお母さん 頭が痛い  
久保稲荷 丸山 眞和子

世のために 私もいつか 輝くぞ  
善蔵新田 藤沢 好花

すてきだな いきいきしてる お母さん  
扇 台 齊藤 愛美

育休パパで たすけあい  
久保稲荷 中村 紳太郎

休まずに 働いている お母さん  
久保稲荷 児玉 諒

手を休めて 笑ってみようよ おかあさん!  
久保稲荷 老沼 雅人

おかあさん どうしてそんなに がんばれる?  
久保稲荷 川口 桃子

## 標語部門 子どもの部

### 応募作品

つかれてる お母さんに 肩たたき  
扇町屋 田中 裕也

ありがとう 家族のために はたらく母  
小谷田 園部 あき穂

かたたたき いっぱいするから あそんでね  
新光 小林 祐哉

たからもの しごとがんばる おかあさん  
仏子 辻野 佑

母さんが 男のように働く姿 店の人がほめていた  
野田 鈴木 勝也

がんばって ぼくがかたもみ してあげる  
仏子 金子 翔悟

かんごふさん いつもやさしく してくれる  
仏子 矢崎 優日香

かあさんの 包丁もつ手は まめだらけ  
仏子 土居 里緒

よく働くね いつねているの お母さん  
仏子 逸見 萌

いってらっしゃい 今日もがんばれ お母さん  
仏子 四宮 早也佳

お母さん 365日の いつが休みなの?  
豊岡 橘 龍斗

家事仕事 両方こなす お母さん  
久保稲荷 藤本 洋

## 標語部門 子どもの部

### 応募作品

日曜日 お母さんにも あげようね  
豊岡 松澤 芽里奈

おかあさん まいにちしごと がんばって  
豊岡 森田 駿介

お母さん きゅうりょうもらって うれしそう  
豊岡 露木 彩

今もまた しごとをがんばる お母さん  
向陽台 大野 陽

ひたいから あせをながして がんばるお母さん  
黒須 鹿毛 悠矢

お母さん 母の日ぐらいは 休んでね  
豊岡 森田 菜保美

けがをした時 傷みをやわらげてくれる 魔法の手(看護婦さん)  
黒須 鹿毛 亮佑

朝早く 電車にゆられて 東京へ  
向陽台 石山 大貴

**標語部門** 一般の部

## 標語部門 一般の部

### 優秀作品

子育ては24時間フルタイム  
パパの援護でみんな笑顔

野田 築地 芳枝

育休を 取るパパ応援 社会の理解

野田 築地 芳枝

背中見せてるだけじゃ  
大きくなれない子供の心

宮寺 井ヶ田 啓子

かがやいて 妻です母です女です

豊岡 増岡 達也

## 標語部門 一般の部

### 佳作

今がチャンス 個性と能力 生かす時

下藤沢 倉林 元子

夢と希望 一步を踏み出すのは あなたです

下藤沢 倉林 元子

ともに子育て ともに喜び ともに成長

日高市 横手 香世子

助け合い 働く女性に 家族愛

日高市 横手 香世子

子に添うて 夕焼け見るも 父の愛

宮寺 井ヶ田 啓子

子の成長 見守る父に 子の笑顔

西三ツ木 池谷 のぶ子

## 標語部門 一般の部

### 応募作品

平成は 家族揃って 穏やかに  
上小谷田 斉藤 けい子

朝顔の つるべを持って 背くらべ  
上小谷田 斉藤 けい子

植木鉢 話台を増やし 手入れする  
上小谷田 斉藤 けい子

さあチャレンジ！ 夢と希望をもって  
下藤沢 倉林 元子

育休を 取って知る恩 子への愛  
野 田 築地 芳枝

参画で 変えよう社会 変えよう人間  
日高市 横手 香世子

父専用 使い古せし おぶい紐  
宮 寺 井ヶ田 啓子

愛都優 社会支える 未来の子  
上藤沢 進藤 愛一郎

**写真部門**

## 写真部門

### 優秀作品出品者

高 倉 桜井 孝子  
宮 寺 猪瀬 善文  
宮 寺 中村 由美子  
黒 須 三澤 利弘

### 応募作品出品者

木蓮寺 山崎 孝  
宮 寺 高橋 徹也  
河原町 大山 博  
下谷ヶ貫 大沢 雄二  
高 倉 佐倉 良  
高 倉 桜田 是葉

### 作品展示のご案内

平成16年2月16日(月)～20日(金)  
入間市役所1階 市民ギャラリー  
平成16年4月～  
(仮称)入間市男女共同参画推進センター

### 入間市男女共同参画都市宣言 記念作品集

発行日 : 平成15年11月16日  
企画・編集 : 「男女共同参画都市宣言」実行委員会  
問い合わせ : 入間市役所企画課  
〒358-8511  
埼玉県入間市豊岡1-16-1  
電話 042-964-1111